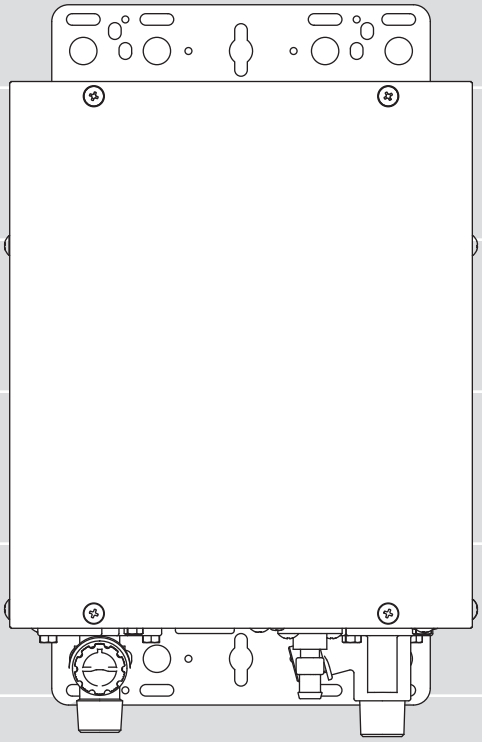
取扱説明書 保証書付

Rinnai

リンナイ 電気式即湯循環ユニット

型式名 RPU-6QE



ご愛用の皆様へ

このたびは、電気式即湯循環ユニットをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。
- 熱源器の操作方法につきましては、それぞれの製品に付属の取扱説明書をお読みください。

もくじ

ページ

●安全上のご注意…… 1

●各部のなまえとはたらき…… 4

●使用方法

①時計の合わせかた…… 6

②即湯運転のしかた（予約運転をしない場合）…… 7

③即湯運転のしかた（予約運転をする場合）…… 8

④即湯運転のしかた（予約時間の変更）… 9

●冬期の凍結による破損防止につい… 11

●日常の点検・お手入れのしかた…… 12

●主な仕様…… 12

●故障かな？と思ったら…… 13

●アフターサービス…… 14

●保証書…… 裏表紙

安全上のご注意　ご使用の前に

この機器を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

内容の区分

表示	⚠警告	⚠注意	お願い
意味	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重症を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	警告、注意の項目以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽　　傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の意味

一般的な危険 警告 注意	必ず行うこと	分解禁止
触れないこと	一般的な禁止	

⚠警告

工事は資格必要

この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ず施工店に依頼してください。

改造・分解禁止

絶対に改造・分解は行わないでください。改造・分解は思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

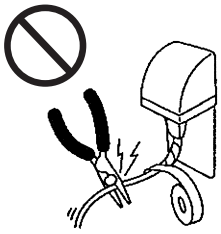
機器の異常に気付いたら

- 使用中に異常な臭気・異常音・異常な温度・水漏れを感じた場合は、ただちに使用を中止してください。
- 異常を感じた時は、「故障かな? と思ったら」（13ページ）に従ってください。
  上記の処置をしても直らない場合は使用を中止して、お買い上げの販売店または当社お客様センターへご連絡ください。
  リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120―054―321
- 地震・火災などの緊急の場合は、ただちに使用を中止してください。

⚠警告

電気事故防止

● 電源コードを切断して延長はしないでください。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因となります。



● 電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

● 電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

● ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。また、雨が降り出している場合は電源プラグを抜かないでください。感電のおそれがあります。

● この機器はアースが必要です。アースされていることを確認してください。

やけど防止のために必ず守ること

● お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけどのおそれがありますので、出始めのお湯は手や体にかけないでください。

● やけどの防止のため、入浴前に必ず浴槽の湯温を手のひらで確かめてから入浴してください。また、シャワーなどでお湯を使うときもリモコンの給湯温度表示を確認し、手のひらで湯温を確かめてからお使いください。特に高温のお湯を使った後に再使用する場合は、配管中に熱いお湯が残っていることがありますのでご注意ください。

● シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。

⚠注意

ご使用上の注意

● 給湯・シャワー以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になります。

● 電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

お願い

機器の設置状態の確認

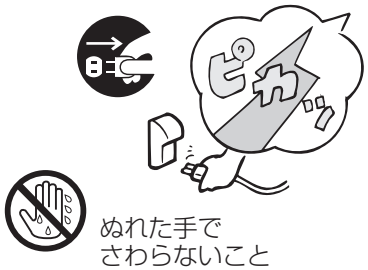
●機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
①機器は傾いて設置されていませんか?
②棚の下など落下物の危険はありませんか?
③メンテナンスができない場所に設置されていませんか?メンテナンスをお断りすることがあります。
なお、高所作業に必要な足場や作業にかかる費用は、保証期間中であってもお客様のご負担となります。
④近隣の家が騒音（ポンプ回転音など）で迷惑にならない場所に設置してありますか?

以上の項目を満足していない場合には、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、設置場所を変更してください。

●地下水や井戸水は、水質によっては機器の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は、保証期間内でも修理は有料となります。
●事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

雷が発生したときの注意

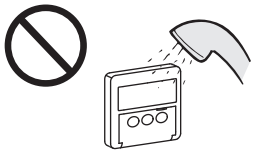
●雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。（またはブレーカーを落とす）雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。また、感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。
●雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグが濡れていないことを確認してコンセントにしっかりと差し込み、時刻・温度などの再設定をしてください。



リモコンの取り扱いについて

● リモコンはお子様がいたずらしないように注意してください。思わぬ事故や故障の原因になります。

● リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因となります。



● 炊飯器・電気ポットなどの蒸気・温風をリモコンに当てないようにしてください。故障の原因となります。
● リモコンのお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジンやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。

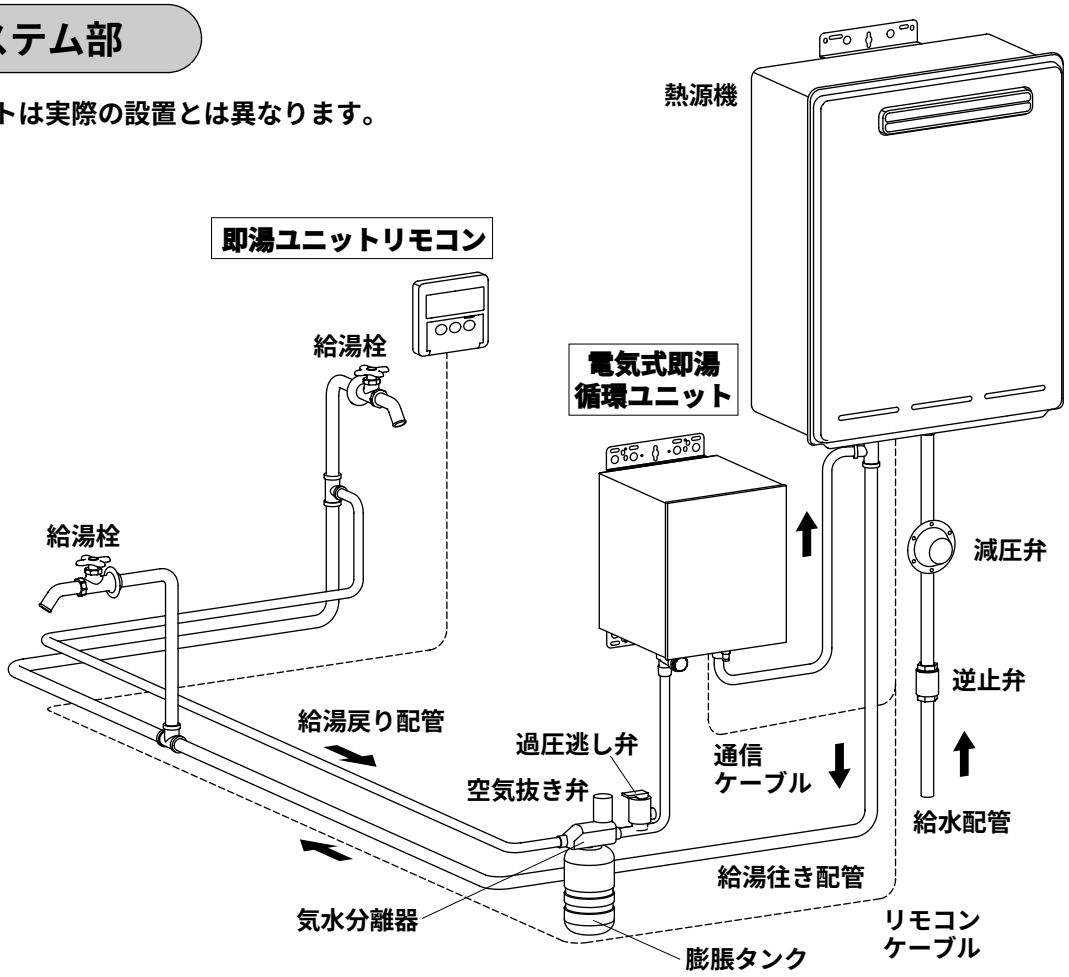
ご使用上の注意

● お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。
● 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・消臭剤または塩などが、機器などにかかった場合はすぐに十分な水洗いをしてください。思わぬ事故や故障の原因となります。
● 断水時には機器の運転を停止して給湯栓を閉めてください。また、断水が復帰した後、使い始めのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。給湯栓から十分水を流してから使用してください。
● 機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用や調理には用いないでください。
● 機器をより長く使用していただくため、使用頻度が少ない場合はお湯の利用時間帯に合わせて即湯予約運転（8ページ参照）を行うことをおすすめします。

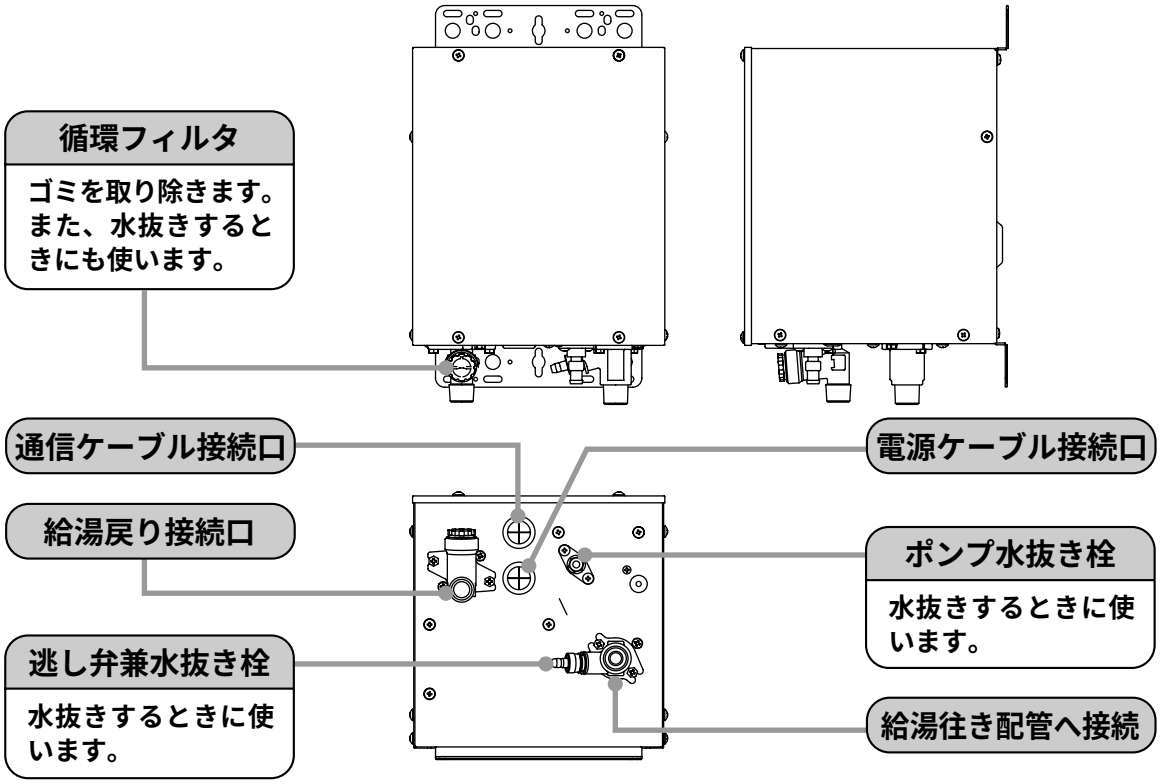
各部のなまえとはたらき　ご使用の前に

システム部

※イラストは実際の設置とは異なります。



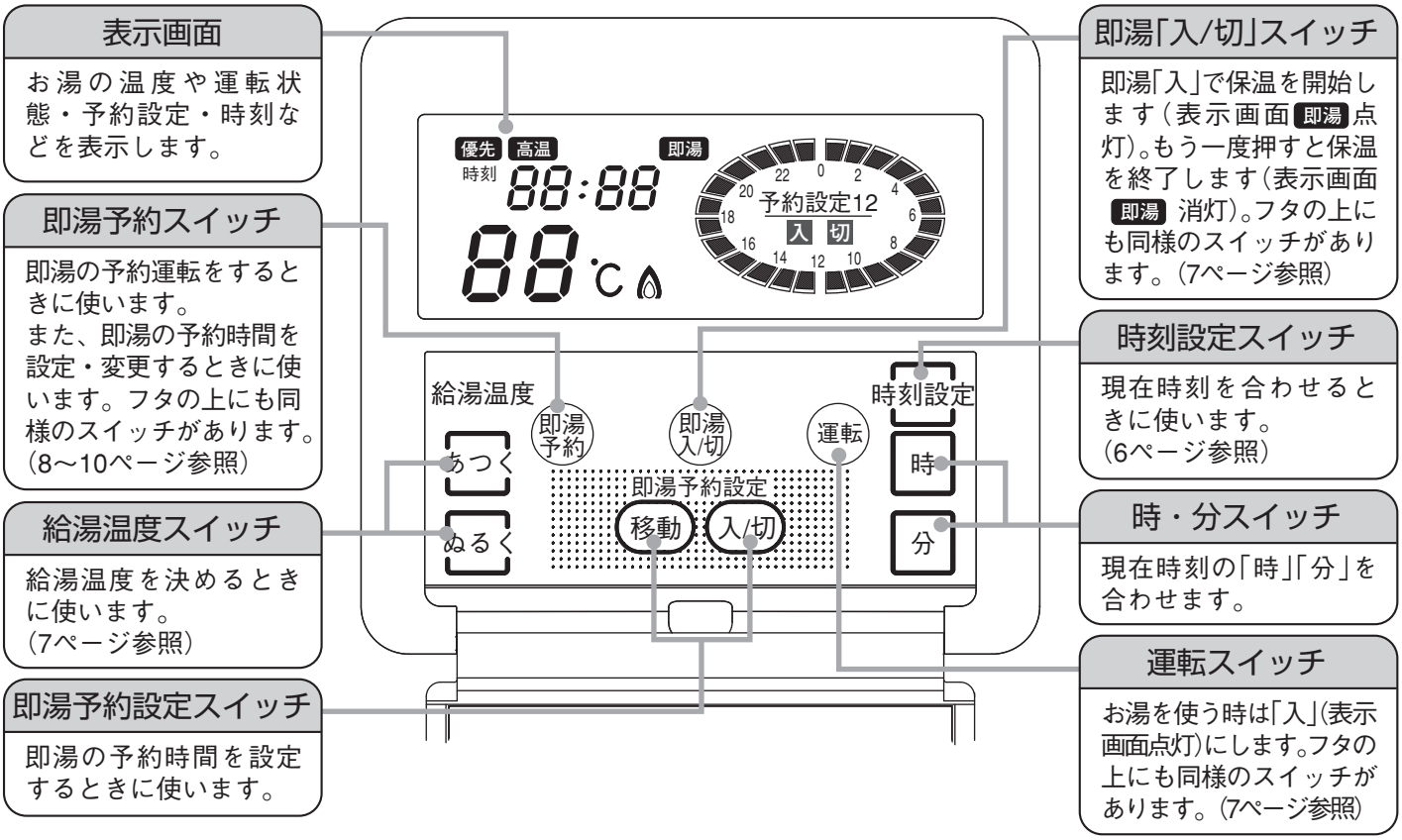
電気式即湯循環ユニット



各部のなまえとはたらき　ご使用の前に

即湯ユニットリモコン(付属品)SC-84E

- 台所に設置されているリモコンです。各スイッチを操作すると「ピッ」という操作確認音でお知らせします。
- スイッチを操作した場合は、操作確認音と表示画面の各動作表示の点灯を確認してください。点灯しない場合は、もう一度操作してください。
- 表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



表示画面
お湯の温度や運転状態・予約設定・時刻などを表示します。

即湯予約スイッチ
即湯の予約運転をするときに使います。
また、即湯の予約時間を設定・変更するときに使います。フタの上にも同様のスイッチがあります。(8〜10ページ参照)

給湯温度スイッチ
給湯温度を決めるときに使います。
(7ページ参照)

即湯予約設定スイッチ
即湯の予約時間を設定するときに使います。

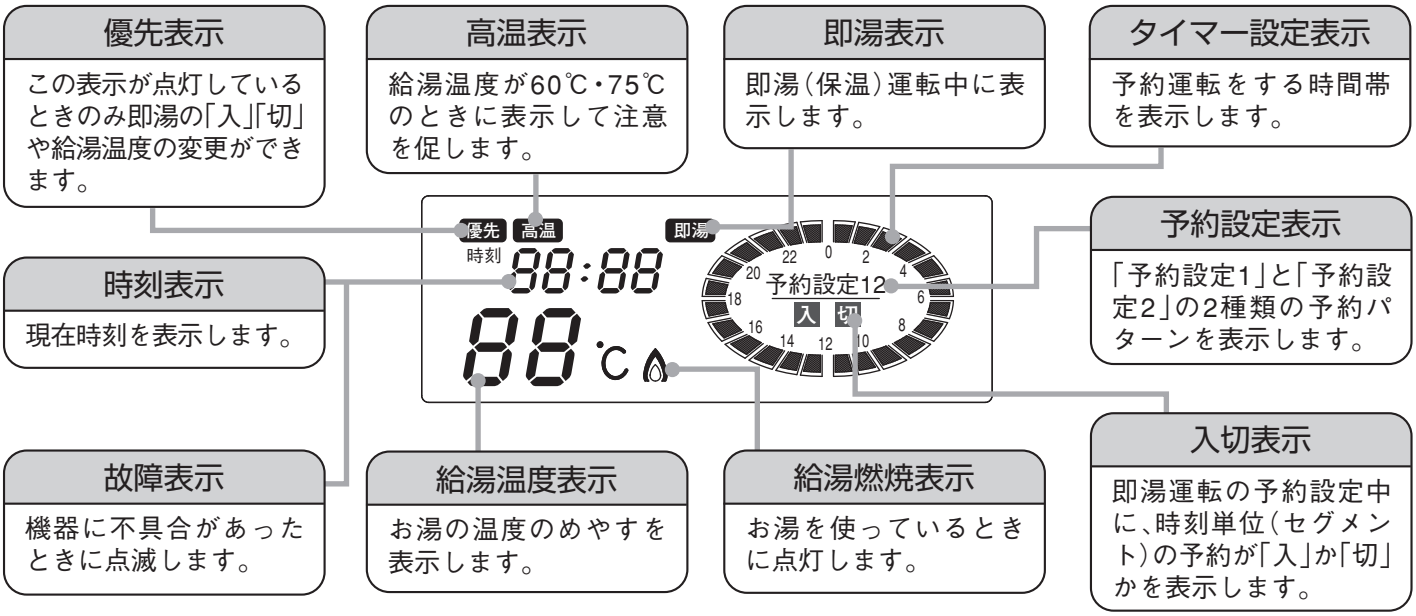
即湯「入/切」スイッチ
即湯「入」で保温を開始します(表示画面 即湯 点灯)。もう一度押すと保温を終了します(表示画面 即湯 消灯)。フタの上にも同様のスイッチがあります。(7ページ参照)

時刻設定スイッチ
現在時刻を合わせるときに使います。
(6ページ参照)

時・分スイッチ
現在時刻の「時」「分」を合わせます。

運転スイッチ
お湯を使う時は「入」(表示画面点灯)にします。フタの上にも同様のスイッチがあります。(7ページ参照)

即湯ユニットリモコン表示画面のみかた



優先表示
この表示が点灯しているときのみ即湯の「入」「切」や給湯温度の変更ができます。

高温表示
給湯温度が60℃・75℃のときに表示して注意を促します。

即湯表示
即湯(保温)運転中に表示します。

タイマー設定表示
予約運転をする時間帯を表示します。

予約設定表示
「予約設定1」と「予約設定2」の2種類の予約パターンを表示します。

時刻表示
現在時刻を表示します。

故障表示
機器に不具合があったときに点滅します。

給湯温度表示
お湯の温度のめやすを表示します。

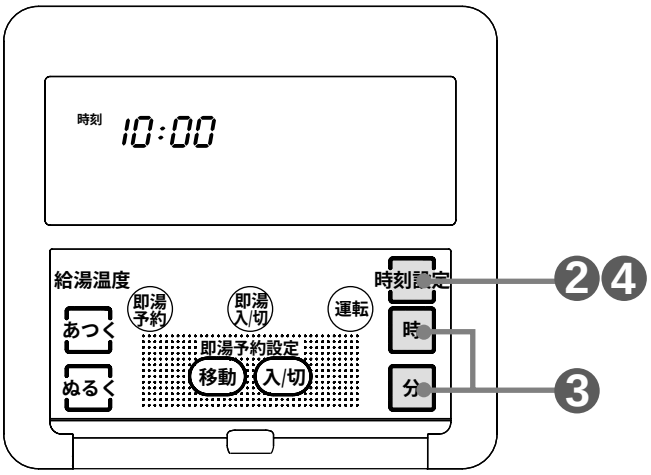
給湯燃焼表示
お湯を使っているときに点灯します。

入切表示
即湯運転の予約設定中に、時刻単位(セグメント)の予約が「入」か「切」かを表示します。

時計の合わせかた　使用方法①

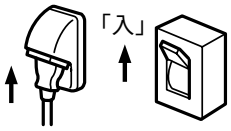
●即湯ユニットリモコン（SC-84E）で設定します。

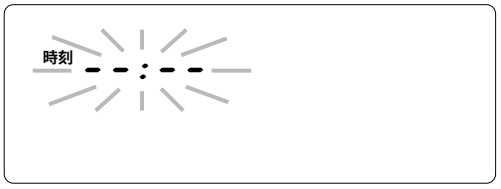
- 現在時刻を合わせないと即湯の予約運転ができません。
- 即湯ユニットリモコン以外に、台所リモコンを設置している場合には別途台所リモコンでも時刻の設定が必要です。



1 電源プラグをコンセントに差します。

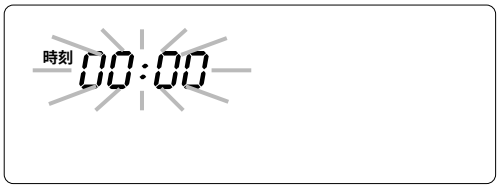
- 熱源機と即湯ユニットの電源プラグを差し込む（または分電盤の専用スイッチを「入」にする）と、右図の表示が点滅します。





2 即湯ユニットリモコンのフタを開け、時刻設定 スイッチを押します。

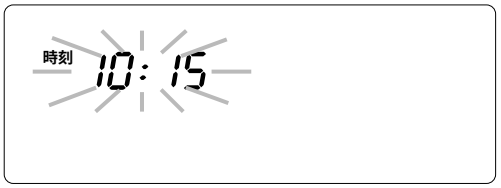
- スイッチを押すと、表示画面の時刻表示が点滅します。



3 分 または 時 スイッチで現在の時刻に合わせます。

- 時・分スイッチを押して現在の時刻を画面に表示します。

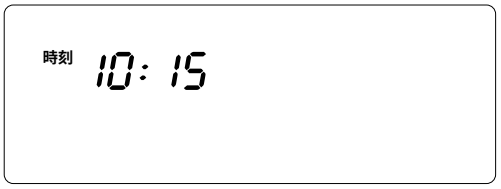
※スイッチを押し続けると、連続的に数字が変わります。表示したい時刻の数字に近づいたら１回ずつ押すようにします。



4 時刻設定 スイッチを再度押します。

- 時刻設定スイッチを押した瞬間に秒は０秒になりますので、時報などに合わせて押せばより正確な時刻になります。
- 以上で時刻合わせは完了です。

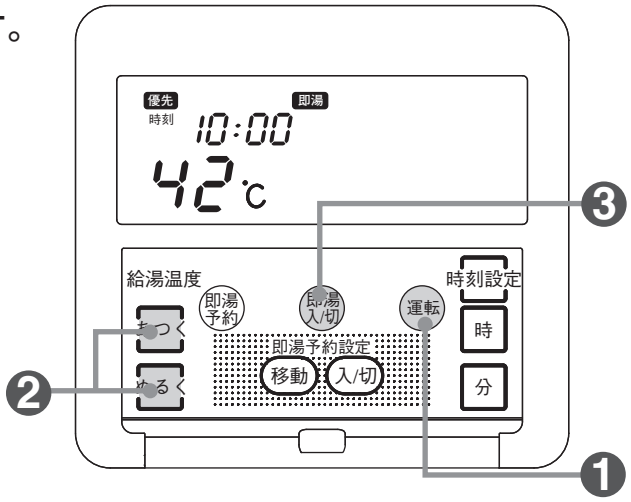
※運転スイッチを「切」にすると、時刻表示だけが点灯した状態になります。



即湯運転のしかた（予約運転をしない場合）　使用方法②

●即湯ユニットリモコン（SC-84E）で操作します。

● 即湯運転とは
給湯配管内を温め保温することで、給湯栓を開ければすぐにお湯が出るようにします。



お願い

●「即湯入/切」スイッチを押しても、すぐに給湯配管内を温めることはできません。給湯配管内が温まるまでにはおよそ1時間かかりますので、すぐにお湯を使用したい場合には即湯予約運転をあらかじめ設定してください。（8ページ）
● 機器をより長く使用していただくため、使用頻度が少ない場合はお湯の利用時間帯に合わせて即湯予約運転（次ページ参照）を行うことをおすすめします。

1 表示画面の点灯を確認します。

● 表示画面が点灯していない場合には、運転スイッチを押して表示画面を点灯させます。
● 運転スイッチを押すと前回に設定した温度が表示されます。初期設定温度は42℃です。

※2台以上のリモコンが設置されている場合、「優先」表示の点灯を確かめて下さい。「優先」ボタンが点灯していない場合には、熱源機が使われていないことを確認し、一旦運転スイッチを「切」にしてから再び運転スイッチを「入」にしてください。

2 フタの中にある あつく または ぬるく スイッチを押して、即湯運転の温度を設定します。

● あつく または ぬるく スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、46℃以上にしたいときはスイッチを1回ずつ押してください。

※設定できる給湯温度はお使いの熱源機によって異なります。詳しくは熱源機に付属の取扱説明書をご確認ください。
※右図は60℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。およそのめやすとお考えください。
※即湯運転の保温最高温度は60℃です。給湯温度を75℃に設定した場合でも配管内のお湯の温度は60℃で保温されます。
※給湯温度を60℃・75℃にセットすると表示画面に 高温 を表示して注意を促します。

3 即湯入/切 スイッチを押します。

●表示画面に 即湯 が点灯し、即湯運転を開始します。
●即湯運転を終了する時は、「即湯入/切」スイッチを押してください。表示画面の 即湯 表示が消えます。

※お湯を使用する際に、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。

⚠警告

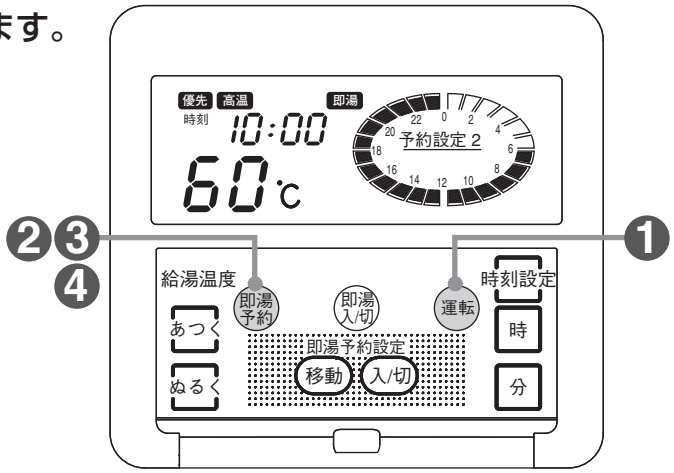
● 即湯運転中に「優先」を切り替えると、切り替えたリモコン側の設定温度に変更され、即湯運転を続けます。やけど防止のため表示画面の温度をよく確かめてからご使用ください。
● 即湯運転中に給湯温度の設定を変更しても、給湯配管中に残っているお湯を使い切るまでは新しく設定した温度のお湯にはなりません。特に給湯温度の設定を下げる場合には、リモコンの表示より配管内のお湯のほうが高くなるため、やけどなどに注意してください。

即湯運転のしかた（予約運転をする場合）　使用方法③

●即湯ユニットリモコン（SC-84E）で操作します。

お願い

- 即湯予約の開始時刻は、お湯を使いたい時刻の１時間前に設定してください。
- 予約運転前には、現在時刻が正しいかどうか表示画面の時刻を確認してください。
- 時刻設定がされていないと、「即湯予約」スイッチを押しても予約設定表示がされません。必ず時刻設定をしてから「即湯予約」スイッチを押してください。



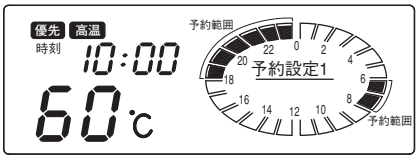
1 表示画面の点灯を確認します。

- 表示画面が点灯していない場合には、運転スイッチを押して表示画面を点灯させます。

2 即湯予約スイッチを押します。

「予約設定1」

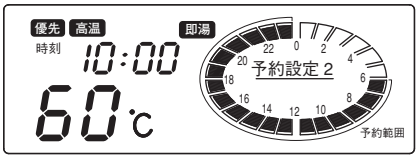
- 即湯予約スイッチを押すと右図のような表示になります。
- 現在時刻が右図の10：00の場合、即湯予約時間の範囲外のため、即湯の表示はされず、予約範囲時間になってから即湯運転を開始します。



3 即湯予約スイッチをもう一度押すと「予約設定」の表示が変わります。

「予約設定2」

- 現在時刻が右図の10：00の場合、即湯予約時間の範囲内のため、即湯が表示されて、即湯運転を開始します。



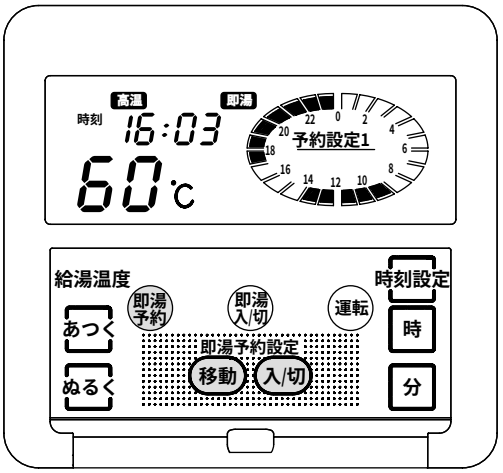
4 即湯予約スイッチをもう一度押すと「即湯予約」が解除されます。

「即湯予約解除」

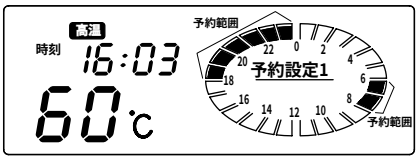
- 即湯予約が解除され、予約設定の表示が消えます。

即湯運転のしかた（予約時間の変更のしかた）　使用方法③

「予約設定 1」の予約時間を「9：00 ～ 14：00」「17：00 ～ 0：00」に変更する場合。

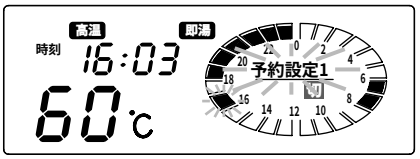


① (即湯予約) スイッチを押して「予約設定 1」の「タイマー」を表示させます。



● 現在時刻が左図の 16：03 の場合、即湯予約範囲外のため 即湯 の表示はされません。

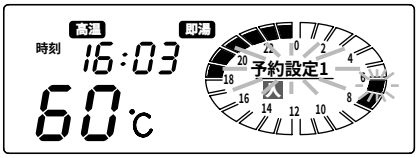
②即湯予約設定の (移動) スイッチを押します。



● だ円の目盛の現在時刻部分「16：00 ～ 17：00」が点滅します。

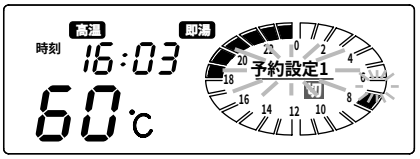
③ (移動) スイッチを押し続けるとだ円の目盛は点滅しながら時計方向に移動します。

● 変更したい「6：00 ～ 7：00」の位置まで目盛を移動させます。



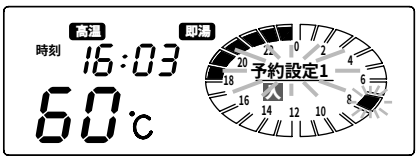
●「6：00 ～ 7：00」の目盛が点滅表示します。

④即湯予約設定の (入/切) スイッチを押します。



● 入 の表示が 切 の表示になります。しばらくすると目盛の点滅が消えて「6：00 ～ 7：00」の目盛が白抜きになります。

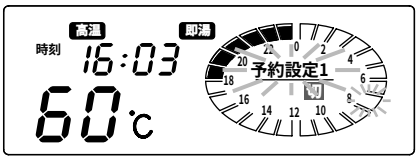
⑤続けて (移動) スイッチを押して、変更したい「7：00 ～ 8：00」の目盛を点滅させます。



●「7：00 ～ 8：00」の目盛が点滅表示します。

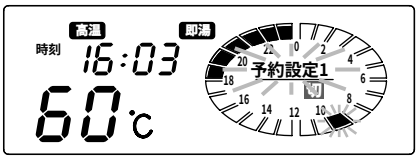
● 「予約設定 2」の予約時間も変更することができます。変更方法は表示画面を「予約設定 2」にして、同じ方法で変更します。

⑥即湯予約設定の(入/切)スイッチを押します。



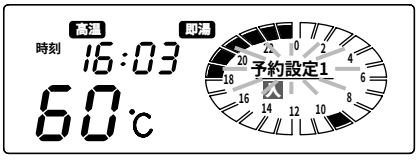
● 入 の表示が 切 の表示になります。しばらくすると目盛の点滅が消えて「7：00 ～ 8：00」の目盛が白抜きになります。

⑦即湯予約設定の(移動)スイッチを押して変更したい「9：00 ～ 10：00」の目盛を点滅させます。



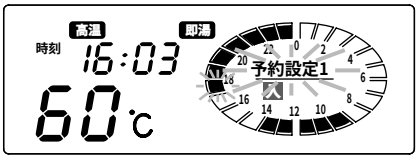
●「9：00 ～ 10：00」の目盛が点滅します。

⑧即湯予約設定の(入/切)スイッチを押します。

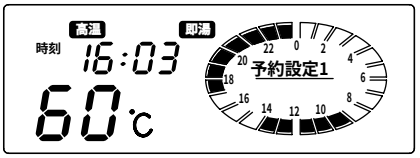


● 切 の表示が 入 の表示になります。しばらくすると目盛の点滅が消えて「9：00 ～ 10：00」の目盛が点灯します。

⑨⑦～⑧の操作を繰り返して「9：00 ～ 14：00」「17：00 ～ 0：00」の目盛を点灯させます。



⑩最後に(即湯予約)スイッチを押して、即湯予約の変更を終了します。



●「予約設定 1」と「17：00 ～ 18：00」の目盛の点滅が点灯になります。

冬期の凍結による破損防止について

●暖かい地域でお使いのお客様も必ずお読み下さい。

⚠注意

- 冬期は暖かい地域でも、機器や給水・給湯往き・給湯戻り配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次の処置をお取りください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

対策その1　凍結予防運転による方法

- この機器は、気温が下がってくると自動ポンプ循環により、凍結を予防します。このため、電源プラグがコンセントに差し込まれている（分電盤の専用スイッチが『入』になっている）ことを確認してください。抜けていると凍結予防運転が作動しませんのでご注意を！

⚠注意

- 外気温が極端に低く（−15℃以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの方法では凍結予防ができなくなります。このような場合には**対策その2**の「水抜きによる方法」を行ってください。

お願い

- この方法だけでは給水・給湯往き・給湯戻り配管、給湯元栓などの凍結予防はできませんので、配管およびバルブ類に保温材や水道凍結防止器などを巻いて、十分な保温をしてください。

対策その2　水抜きによる方法

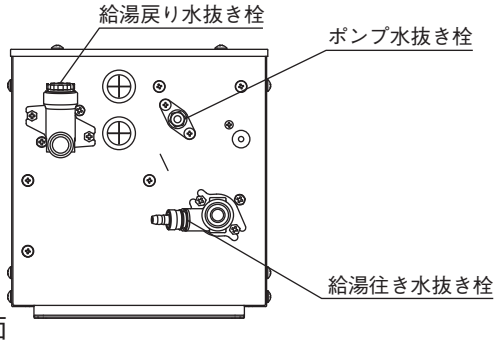
- 機器内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期に渡って機器を使用しないときも、必ずこの《水抜き》を行ってください。

※即湯運転後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷めてから行ってください。

■操作のしかた

1. 熱源機の給水元栓が閉まっていることを確認してください。
2. 熱源機の取扱説明書に記載されている「冬期の凍結による破損防止について（水抜きによる方法）」にしたがって熱源機の水抜きを行ってください。
3. 即湯ユニットの電源プラグを抜いてください。
4. 即湯ユニットの水抜き栓（3カ所）を開けてください。

※以上の操作で機器内の水が排水されますので、次にお使いになるまで給湯栓や水抜き栓は開けたままにしておいてください。



機器下面

凍結した時は

- 凍結した場合は、自然に解凍するまで使用しないでください。凍結したまま使用すると、ユニットの故障の原因になります。
- 水が出るようになっても、ユニットや配管から水漏れがないかよく確認のうえ、ご使用ください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

《水抜きした機器を、次に使うときは……》

1. 即湯ユニットすべての水抜き栓を閉めます。
2. 熱源機の取扱説明書に記載されている「冬期の凍結による破損防止について（《水抜き》をした機器を次に使うときは…）」に従って操作してください。
3. 配管中に空気が残っていると機器が正常に作動しない場合があります。このようなときには即湯ユニットのポンプ水抜き栓をゆっくりとゆるめ、水が出ることを確認し、そのあと水抜き栓をしっかり閉めてからお使いください。

日常の点検・お手入れのしかた

日常の点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、必ず①電源プラグを抜き、②機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないください。

■日常の点検…次のことにご注意ください。

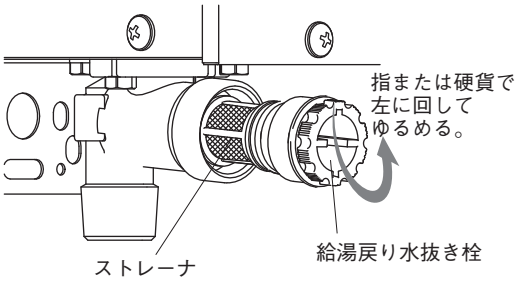
- 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
- 機器の外観に異常は見られませんか?
- 機器および配管から水漏れはありませんか?
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご利用いただくために、年1回程度の定期整備をおすすめします。

※定期整備を受ける先が不明の場合や、整備費用などについてはお買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。

リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321

■お手入れの方法は

- 機器やリモコンの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）を含ませた柔らかい布で汚れをふき取った後、水を含んだ布で軽くふき取ってください。台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないで下さい。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- 即湯ユニットリモコンは防水タイプではありません。リモコンの内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。
- 給湯戻り水抜き栓先端のストレーナにゴミなどが付いていると循環不良の原因となります。こんなときは給水元栓を閉めてから給湯戻り水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道管工事などがあったときはご注意ください。



主な仕様

品名		RPU-6QE
型式名		RPU-6QE
設置方式		壁掛設置（屋外・屋内兼用）
外形寸法（mm）		高さ260×幅220×奥行220
質量（kg）		7.5
接続	給湯戻り	15A（R1/2）
	給湯往き	15A（R1/2）
電源		電源　AC100V（50-60Hz共通）
電消力費	待機時（W）	1.6
	最大時（W）	730

故障かな？ と思ったら

故障かな? と思ってもよく調べてみると故障でない場合もあります。
修理を依頼する前に、もう一度次の点をお調べください。

■次のような場合は、ここをお調べください。

こんなとき	点　検　項　目
表示画面が点灯しない	電源プラグが抜けていませんか。 分電盤の専用スイッチは「入」になっていますか。
	停電していませんか。
即湯予約運転ができない	現在時刻が 時刻 --:-- になっていませんか。 現在時刻が設定されていないと予約運転ができません。（8ページ）
設定温度が変更できない	2台以上のリモコンが設置されていませんか。 「優先」表示の点灯を確かめて下さい。（7ページ）

■こんな時は故障ではありません。

こんなとき	点　検　項　目
給湯栓が閉めてあるのにポンプの音がする	即湯運転中は給湯配管内の温度が下がると自動的に循環ポンプが動き、保温運転をします。
気温が下がってくるとポンプの音がする	凍結予防運転のため、自動的に循環ポンプが働きます。 異常ではありません。
給湯中にお湯の温度が下がる	お湯を使用する際に、配管条件などにより一時的にお湯の温度が下がる場合がありますが、故障ではありません。
使い始めは設定温度と異なる温度のお湯で出てくるが、しばらくすると設定温度になる	即湯運転中に給湯温度の設定を変更しても、給湯配管中に残っているお湯を使い切るまでは新しく設定した温度のお湯にはなりません。
	保温循環の最高温度は60℃です。給湯温度を75℃に設定した場合でも配管内のお湯の温度は60℃で保温されています。
時間表示が 時刻 --:-- になっている	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が 時刻 --:-- になります。再度設定しなおしてください。（6ページ）

※以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または当社お客様センターへご連絡ください。
　リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321

機器が故障するとリモコンの表示画面の時刻表示部に故障表示が点滅します。
故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。

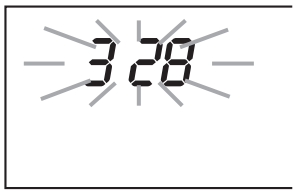
2. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。

3. 再び使用してみてください。

上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店または当社お客様センターに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。
　リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321

故障表示	内　容
168	保温ヒーターの異常
328	循環サーミスタの異常
638	循環ポンプ異常

即湯ユニットリモコン
（SC-84E）表示部



※上記故障表示が点滅している場合でも、熱源機に異常・故障がなければ熱源機はご使用いただけます。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

- 13ページの「故障かな? と思ったら」の項をもう一度ご確認ください。
  確認のうえでそれでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ず電源プラグを抜いて（分電盤の専用スイッチを「切」にして）から、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
  リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321
- 修理をお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
  ① 製品名：電気式即湯循環ユニット　② 型式名：RPU-6QE
  ③ 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）　④ ご住所・お名前・電話番号・道順　⑤ 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- ハシゴかけ・ヤグラ組み立てをしなければ修理ができない場所に即湯ユニットを取り付けられますと、作業に危険を伴うことが予想されます。このような場合は修理をお断りする場合がありますので、施工店にご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
  リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321
- 移転・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- 裏表紙が保証書になっています。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後機器に故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有料修理となりますのでご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保有期間は、製品本体の製造打切後7年です。
- 性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
  リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120ー054ー321

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

交換部品のお求めは

- 当社交換部品・お手入れ品の販売サイト（R.STYLE）では、交換部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。

汚れた部品を交換しましょう！
R.STYLE
消耗品・交換部品のネット販売
当社製品の交換部品・お手入れ品をインターネット販売サイトよりご注文いただけます。
http://www.rinnai-style.jp/

型式名　RPU-6QE

リンナイ電気式即湯循環ユニット　保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

1. 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
   保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
   リンナイ㈱　お客様センター　フリーダイヤル：0120－054－321
4. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
5. 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
   (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
   (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
   (ヘ) 車両・船舶などに搭載して使用された場合の故障および損傷。
   (ト) 本書の提示がない場合。
   (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
   (リ) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
   (ヌ) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
   (ル) ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
   (ヲ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
リンナイ㈱　お客様センター
フリーダイヤル：0120 － 054 － 321

※機器の停止によって生じた営業損失を補填するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは14ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	
	ご住所		住所	扱者印
お買い上げ日	平成　年　月　日		電話番号	

修理記録
この機器の修理記録は、フロントカバー裏面に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ
この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社
〒454-0802 名古屋市中川区福住町２番26号
TEL 代表 052 (361) 8211

見本

製品についてのお問い合わせは

本　社	☎052(361)8211	〒454-0802	名古屋市中川区福住町2番26号
関東支社	☎03(3471)9047	〒140-0002	東京都品川区東品川1－6－6
東京支店	☎03(3471)9047	〒140-0002	東京都品川区東品川1－6－6
北関東支店	☎048(770)6001	〒362-0014	上尾市本町3丁目3番7号
東関東支店	☎043(273)3360	〒261-0026	千葉市美浜区幕張西2丁目7－1
南関東支店	☎045(320)3051	〒221-0825	横浜市神奈川区反町2－16－8
東北支社	☎022(288)3251	〒984-0038	仙台市若林区伊在3丁目1－2
北海道支店	☎011(530)5555	〒060-0057	札幌市中央区南7条東1丁目1番1
新潟支店	☎025(247)6610	〒950-0864	新潟市東区紫竹2丁目1－74
中部支社	☎052(363)8001	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町14－27
関西支社	☎06(6786)3612	〒532-0005	大阪市淀川区三国本町1－10－40
中国支店	☎082(277)5167	〒733-0833	広島市西区商工センター4丁目2－1
四国支店	☎087(821)8055	〒760-0066	高松市福岡町2丁目11番6号
九州支社	☎092(281)3234	〒812-0029	福岡市博多区古門戸町2番3号

修理についてのお問い合わせは
お客様センター　0120-054-321

保守点検・所有者登録についてのお問い合わせは
保守点検コールセンター　0120-493-110

U268-750(03)
180700Ⓤ
060 00012 39398 9